

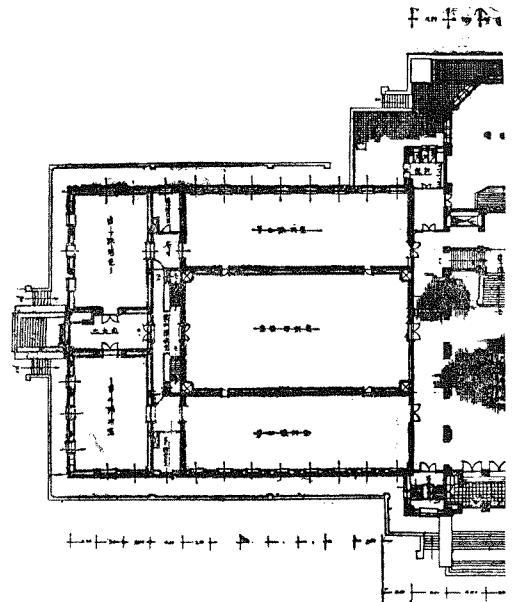
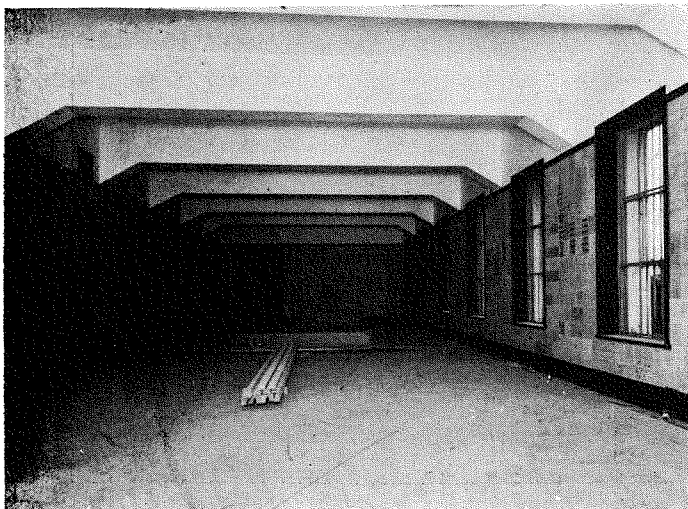


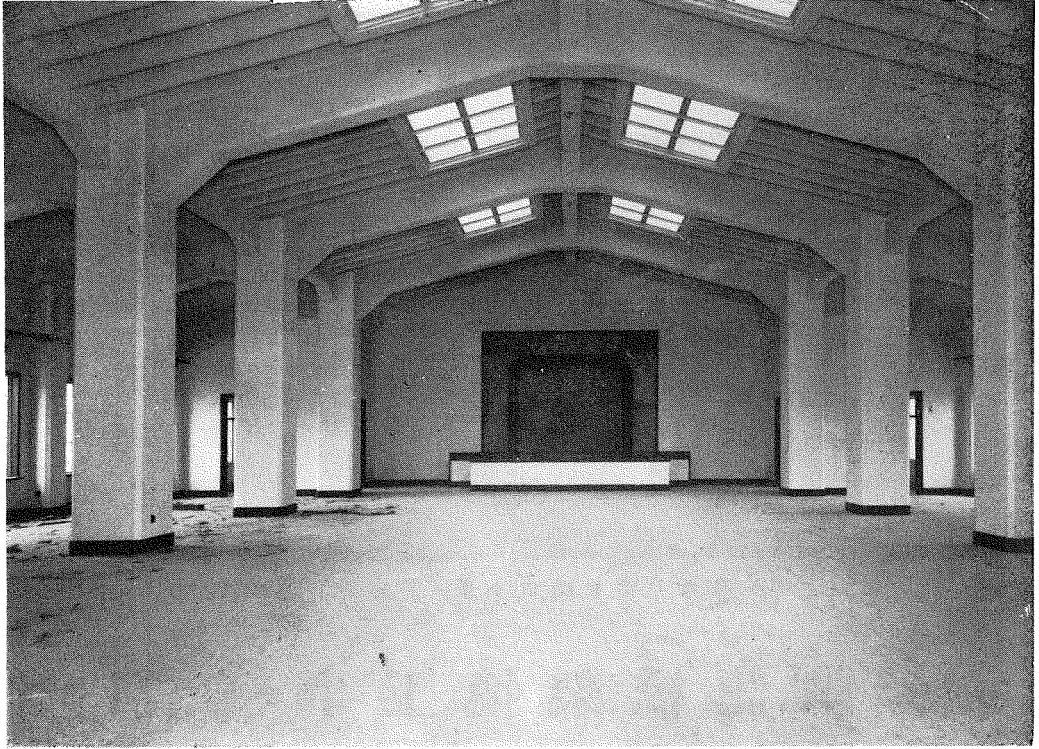
(1) 甲型陳列室、この室は採光法が従來の天窗によるものと全く異なつて居る、圖に見る如く、床より天窗はほんのりしか見えない。即ちこの室では激しい照度の差による目の眩輝を感じる事がない。この斜に立つ天窗は床よりも壁面をよく照す爲に、壁面に陳列する畫面に生ずる第二次反射を除く事が出来る。中央天井の上は廊下になつて居り、此處で、照明の調節、ブラインドの操作、硝子面の掃除を極めて簡単にする事が出来る。床はオークフロアリングブロック、壁は板張りの上上質麻布張り、天井はプラスターである。尙この種の採光法は、我國では全く最初である。天側窓式採光法と稱する。

(2) この室は一階陳列室、採光は側窓より取る。壁は板張りの上、麻布貼りであるが、圖に見えて居るのは、下張りの美濃反古紙を貼り終つた所である。

大 阪 市 美 術 館

設計・大阪市役所營繕課。





完成に 近づく

内装施工・株式会社高橋組。

(3) これは参階の講堂、美術に關する講演の爲に用ひられる。天窗を取つて居るのは、單に室を明るくする爲だけではなく、何かの都合でこの室をも、展覽會場として使用する事があつても差支えない様にとの用意からである。

(4) この室は建築彫刻室、古建築の細部や模型、その他建築に關する陳列品、又彫刻の陳列の爲の室である。この室の特色は周圍にギャラリーを有して居る事で、之は陳列物を單に下からのみでなく、上方よりも見られる様に考慮を拂つたものである。床フロアリングブロック、壁麻布、上部プラスター。

